みんなで守ろう！子どもの権利

一人ひとりが安心してスポーツに参加できるようコーチからの約束

『権利』ってなに？（基本的人権）

子どももおとなも、私たちは誰でも、いろいろな権利をもっています。権利とは、一人ひとりが「あたりまえに」約束されていることです。権利がちゃんと守られている時、からだの中からぽかぽかした気持ちになって、自分の内側から力がみなぎってくるような気持ちになります。自分が自分であることがうれしくなります。これが一人ひとりの「安心・安全」が守られている状態です。

子どもの権利（子どもの権利条約）

基本的人権に加えて、子どもは子どもとして生きるために絶対に必要な権利「子どもの権利」をもっています。

1. スポーツに**安心・安全に参加し、楽しむ**権利（第31条）

2. **心やからだを傷つける行為から守られ、すくすくと成長できる**権利。もし万が一傷つけられた時には、**無視されることなく、一緒に考え、権利を守ってもらえる**権利（第5条・第6条）

3. コーチや、おとなや、周りの友達から**差別されない**権利（第2条）

4. 子どもにとって**一番よいことを考えてもらえる**権利（第3条）

5. 自分に関することについて**自分の気持ちや意見を自由に表現し、それを聴いてもらえる**権利（第12条・第13条）

他にも「子どもの権利」はたくさんあります。お家の人やコーチと一緒に調べてみましょう！

コーチは、みんなと一緒に子どもの権利を守るために次のことを**約束**します。

他にも、

みんながコーチに**守ってほしい約束**があったら話し合ってみましょう。もしコーチが約束を守っていない時には、**「いやだ」**と思って良いし、**「やめて」**と言うことができます。困ったことがあれば、あなたが信頼できるおとなに**相談してください。**

NO!

子ども相談窓口

セーフガーディングオフィサー：

制作 一般社団法人 S.C.P.Japan　協力 認定NPO法人CAPセンター・JAPAN